

高橋林業株式会社 サステナブル経営支援ローン 評価レポート

評価日: 2026 年 7 月 31 日

株式会社北洋銀行
札幌駅南口支店

1. 基本情報

企業名	高橋林業株式会社	
代表者名	代表取締役 高橋洋康	
所在地	札幌市中央区北 4 条西 5 丁目 1 番地	
資本金	1,000 万円	
従業員	19 名 (2026 年 6 月現在)	
業種	電力インフラ周辺の森林管理・保安伐採を専門とする林業関連サービス業	
事業内容	送電線・配電線下の樹木の剪定業務や山林地帯の鉄塔間の草木伐採等	
沿革	1970 年	当社設立
	1971 年	電力インフラ関連企業との取引開始
	2018 年	台風および北海道胆振東部地震発生時に、電力設備の復旧作業に貢献し、関係機関より感謝状を受領
	2021 年	無災害記録 7 年・延べ労働時間 20 万時間を達成し、安全に対する取組が評価され表彰を受ける
	2026 年	健康経営宣言書を提出

2. 経営理念

経営理念

誠実な仕事を心掛ける

高橋林業株式会社(以下「当社」)は、「森林資源とエネルギーインフラの共存」をテーマに、地域社会の安全で安定した暮らしを支えることを自らの使命としている。配電線・送電線周辺の樹木・草木管理は、電力の安定供給と防災の観点から極めて重要な役割を担っており、当社はこの分野の専門事業者として、長年にわたり確かな実績と信頼を積み重ねてきた。

経営方針として、「安全第一」、「確実な施工」、「地域との共生」を基本方針として掲げている。当社は、高所での伐採や山林での作業の危険性を踏まえ、従業員の安全と健康を最優先とする現場運営を徹底している。「安心・安全に働ける職場づくり」と「職員の健康を守ること」を経営の中核的な価値として位置付け、必要な伐採・剪定を意識しながら、環境に配慮した施工を心がけている。

代表取締役の高橋洋康氏は、法人会や業界団体で要職を務め、地域経済や業界全体の発展にも積極的に関与している。企業経営にとどまらず、地域社会への貢献と従業員の安全・健康の両立を重視する姿勢が強く表れている。

3. 事業概要

当社は、配電線・送電線の下部やその周辺に位置する樹木の剪定を主な事業とし、送電線への樹木の接触や倒木を未然に防ぐことで、停電や設備損傷などのトラブルを回避し、電力インフラの安定運用を支える重要な役割を担っている。当社が手掛ける事業は、一般消費者の目に触れる機会は少ないものの、地域の暮らしや産業活動を支える基盤を守る「縁の下の力持ち」の役割を担っている。

主な事業エリアは札幌近郊から北空知、後志地区にかけての広範な地域であり、年間を通じて送電線路周辺の管理業務に従事している。電力インフラの特性上、一定の周期で伐採・剪定が必要となるため、送電網が存続する限り継続的な需要が見込まれ、当社の受注基盤は安定している。売上のほぼ全てが間伐・剪定等の事業が占め、エネルギーインフラと森林管理の両面で社会に貢献する事業モデルを確立している。

取引先は主に電力インフラ関連企業や関連工事会社であり、当社は長年にわたる実績と安全性、施工品質から信頼が厚く、同様の業務を行う事業者が減少する中で、当社は豊富な経験と技術力を背景に、道内における該当業務の相当部分を担う存在となっている。

このように、当社は電力インフラと森林環境をつなぐ特殊な林業サービスに特化し、安定的な受注基盤と健全な財務体質を有する企業として、地域のインフラ維持と防災・環境保全の両面において重要な役割を果たしている。

▼当社施工の様子



出所: 高橋林業株式会社 提供資料

4. サステナビリティ活動

(1) 環境面の取り組み

当社の事業そのものが環境保全と社会インフラ維持に深く関わっていることは、当社のサステナビリティ活動の中でも特筆すべき点である。配電線・送電線周辺の樹木・草木管理は、単に配電線・送電線への接触を防ぐだけでなく、風雪時の倒木やそれに伴う設備損傷等のリスク低減につながり、災害の未然防止や森林の健全な維持に寄与している。計画的かつ継続的な作業を通じて、自然環境とエネルギーインフラの共存に貢献している。

現場では、地形や植生、送電設備の状況を的確に見極めながら、必要な範囲に絞った伐採・剪定を重視している。過度な伐採を避け、安全確保に必要な最小限の処理にとどめることで、森林の景観や環境機能を損なわないよう配慮し、安全性と環境保全の両立を図る姿勢が当社の現場運営の根底にある。

社内では、日常業務における余分なエネルギー使用を抑える意識を徹底している。事務所では、休憩時間に照明消灯など、細かな省エネを実践し、照明のLED化により消費電力の削減と長期的なコスト低減の両立を進めている。また、発注先による電子データ活用の進展に伴い、当社でも図面や書類の授受を紙ベースからデジタルへ切り替えつつあり、それと並行して社内資料の電子化および印刷枚数の削減が進められている。これらの取り組みは、実行可能な範囲から着実に省エネ・省資源を進めるものであり、従業員一人ひとりの環境意識の醸成にも寄与している。

(2) 社会面の取り組み

社会面においては、危険を伴う現場作業を担う企業として、従業員の安全と健康確保を最重要テーマとしている。現場作業前の打合せや危険箇所の共有、安全確認、保護具の適切な着用、作業手順の徹底などを通じて、事故防止に向けた安全管理を徹底している。安全装備や防護着は定期的に点検・更新し、常に良好な状態で使用できるようにすることで、「安心して現場に立てる環境づくり」を進めている。

こうした地道な安全への取り組みの結果として、当社は無災害記録 7 年・延べ労働時間 20 万時間を達成し、安全に対する姿勢が高く評価され表彰を受けている、長期間にわたり重大事故を起こしていない実績は、現場力と安全文化が根付いていることを示している。

チェーンソーや伐木作業などの業務関連資格の取得を奨励し、専門性の高い人材の育成にも取り組んでいる。資格取得により従業員一人ひとりの技術力と自信が高まり、現場の安全性や作業品質の向上にもつながることで、「安全」と「技術力」の両方を高める好循環が生まれている。

従業員の健康とメンタル面の安心を支えるため、がん保険やパワハラ保険など、従業員向けの保険にも加入している。疾病やトラブル発生時にも、従業員を守るセーフティネットを用意し、「この会社なら安心して働き続けられる」と感じてもらえる環境づくりを重視している点は当社の特徴である。

また、福利厚生の充実にも注力し、休暇を取得しやすい雰囲気づくりや、業務の平準化・分担の見直しによる残業時間を抑制する取り組みも進めている。現場や季節ごとの業務量を踏まえ、計画的なシフト編成や休暇取得を促すことで、仕事と私生活のバランスを取りやすい職場環境の実現を目指している。

このように当社は、安全装備・保険・働き方・人材育成を総合的に組み合わせ、「安全に働ける」、「健康に働き続けられる」、「安心してキャリアを築ける」職場づくりを進めている。これが地域のインフラを支える事業の安定運営にもつながっている。

さらに、代表取締役が法人会や業界団体の要職を務めることで、地域経済や業界全体の健全な発展にも貢献している。事業活動のみならず、地域社会との対話やネットワークづくりに積極的に関わることで、より良い事業環境・労働環境の形成にも寄与しており、「地域とともに働く人を大切にする企業」としての姿勢を内外に示している。

■北海道胆振東部地震災害復旧工事



出所: 高橋林業株式会社 提供資料

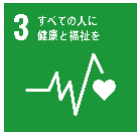
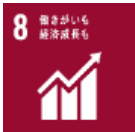
5.サステナビリティ目標

高橋林業株式会社の更なる企業価値の向上と、持続可能な開発の実現に向けた社会課題を踏まえ、以下のサステナビリティ目標を設定した。この目標は、当社の事業エリアである北海道が持続的に発展し、魅力ある地域を創り上げていくために策定した「北海道総合計画(2024)」などを参照し、設定したものである。目標達成への企業行動を通じて、当社のプレゼンス向上と地域社会が目指す姿の実現に貢献するものであり、目標は有意義である。

(1) 環境面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	脱炭素社会実現への貢献
目 標 ・ K P I	① 自社の温室効果ガス排出量の可視化を実施する。
関連する SDGs	 

(2) 社会面におけるサステナビリティ目標

重 要 課 題	ワークライフバランスの充実
目 標 ・ K P I	① 正社員の年間総労働時間を 1,923 時間以下にする。
関連する SDGs	 

留意事項

本文書は、北洋銀行が借入人に対して実施する「サステナブル経営支援ローン」に際し、借入人の企業経営とサステナビリティ目標に対する北洋銀行の評価を述べたものです。

本文書に記載された情報は、現時点で入手可能な公開情報、借入人から提供された情報や借入人へのインタビューなどで収集した情報に基づいて、現時点での状況进行评估したものであり、当該情報の正確性、実現可能性、将来における状況への評価を保証するものではありません。

北洋銀行は当文書のあらゆる使用に起因して発生する全ての直接的、間接的損失や派生的損害については、一切義務または責任を負わないものとします。

本評価書に関する一切の権利は北洋銀行に帰属します。評価書の全部または一部を自己使用の目的を超えての使用(複製、改変、翻案等を含む)は禁止されています。